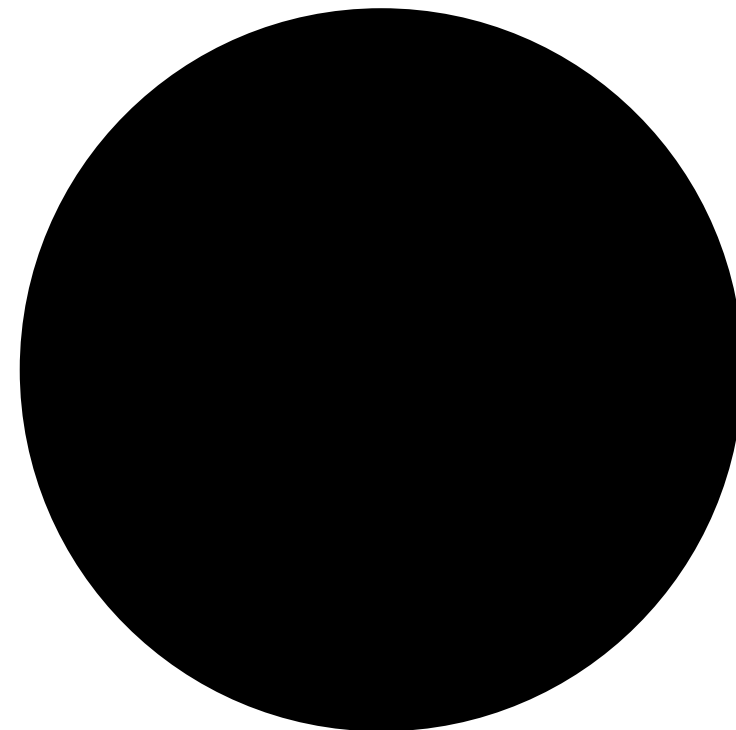


まぼろしを見た かった

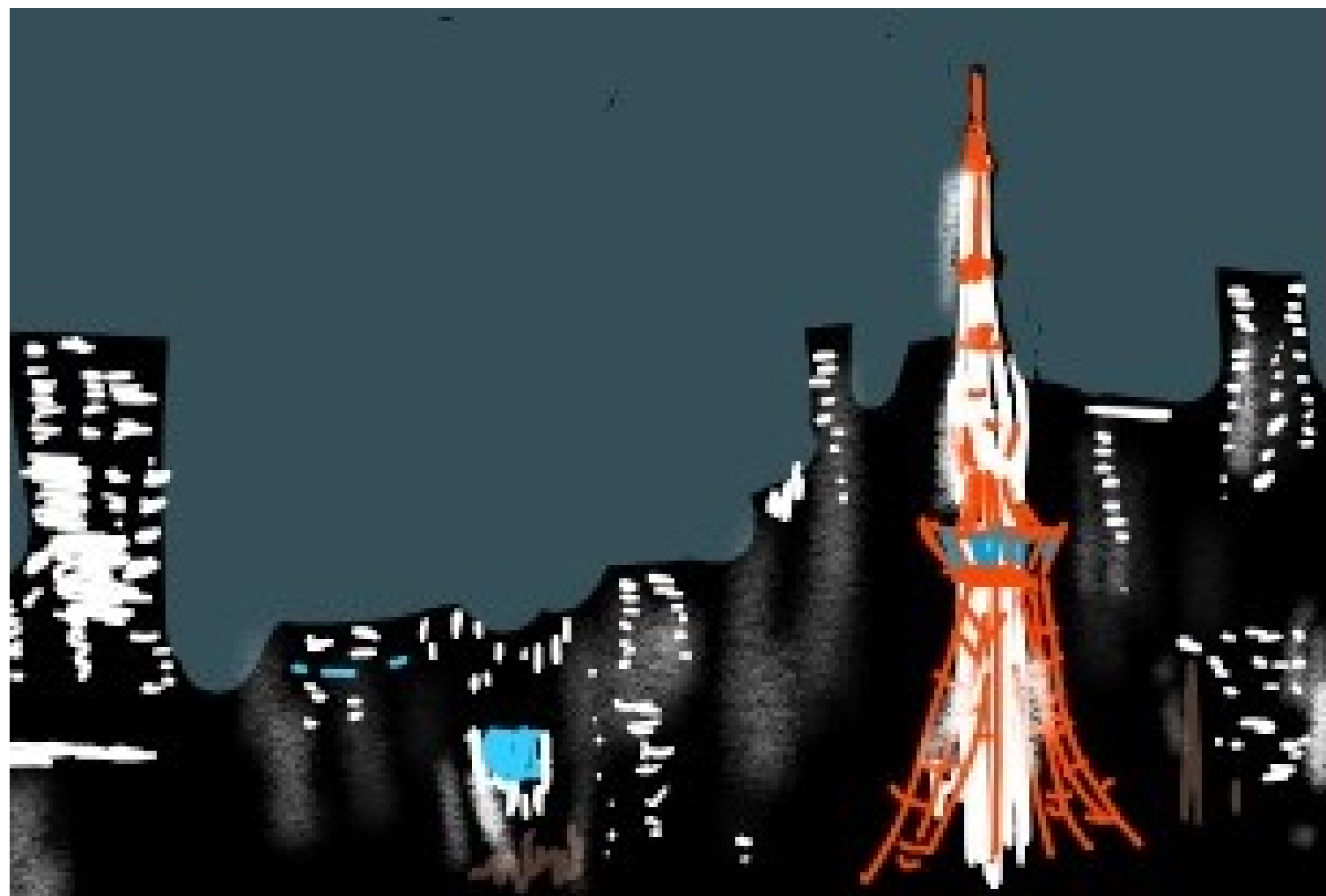


発案：恵須川ヒロシ
作：ドラゴン藤原



川がせせら
ぐ山のなか
ひっそりと
育った私





都会の
暮らしにあ
こがれてた





音楽に熱をあげ



人前でギ
ターを弾く
のが好き
だった





これからどうな
ろうと心配しな
かった。



山の中の国道をまぼろしを載せて走る





故郷がささやくわすれないでと



ささやき声がこだま
する山彦のように





あなたは地平線
から姿をあらわ
し僕を見る



都会の人は
スマホを片
手に





コンクリートの
中を葬式のように歩く



ただ車の行き来する音がこどまる。





自分に嘘をつい
て生きないように
に





うそじゃない
い



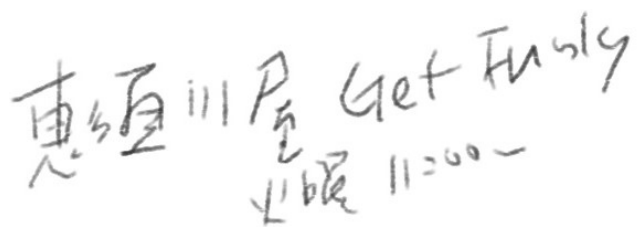
今夜だけは
幻を見た
かった





土塩れ〜た...ッ (間奏)





僕の軽トラ
には今日も
夢を乗せて
走っていく



完

